

平成 26 年 7 月 吉日

NISA 会員 各位

一般社団法人長崎県情報産業協会
会長 平 敏 孝
研修技術委員長 佐藤 康彦

第 1 回 CCSF ワークショップ参加企業の募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろから一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)の活動につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて NISA では、昨年 10 月 25 日に、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)と一般社団法人福岡県情報サービス産業協会(FISA)の協力・支援をいただき、「スキル標準セミナー(CCSF 勉強会)」を開催しました。その後、フォローアップをしながら、本年 6 月 18 日に福岡(FISA)で開催された「第 2 回 CCSF ワークショップ」結果報告会に、長崎からも多くの参加があり、参加企業様から高く評価され、自社でも取組みをご希望される方がありました。

そこで今年度は、九州経済産業局様、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)様および特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会様の後援の下、「第1回 CCSF ワークショップ」を長崎で開催することとなりました。

NISA の会員企業の中で、積極的に人材育成を計画的かつ継続的に行いたい企業様を募集します。 業務ご多忙の折に、誠に恐縮ですが、是非ご応募くださいますようお願い申し上げます。

NISA として、継続的にこのような人材育成プランの立案や NISA 研修の充実、助成金活用支援を行って参ります。

ご不明な点等は、事務局までご連絡ください。

敬具

記

<目的>

IPAは、3つのスキル標準(ITSS・ETSS・UISS)共通のインターフェースを整理し、2012年3月26日に「共通キャリア・スキルフレームワーク(第一版・追補版)」(以下「CCSF」という。)を公表しました。CCSFの活用方法を詳説した「共通キャリア・スキルフレームワーク(第一版・追補版)コンテンツ活用ガイド」(以下「CCSF 活用ガイド」という。)に則り、実際に企業のIT人材育成を鑑みたスキル標準の導入を行います。

今回は、NISA会員企業様を中心としてご参加いただき、地元企業のニーズにマッチした人材育成プログラムを構築していきます。

共通キャリア・スキルフレームワーク:<http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/ccsf/download.html>

<主催> 一般社団法人長崎県情報産業協会

<後援(予定)> 九州経済産業局、IPA、特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会

<協力> 一般社団法人福岡県情報サービス産業協会

<応募条件>

- ・NISA 会員企業であること
- ・自社のビジネスモデル達成のために、人材育成の強化が不可欠であり、スキル標準を活用した人材育成プロセスの構築を積極的に検討していること
- ・10～1月までのワークショップおよび課題への参加を最低2名以上できること
- ・経営層の理解と協力およびワークショップの初回(10/2)への参加ができること
- ・報告書作成への協力、次年度継続する場合に協力できること
- ・次年度以降も継続的に自社で構築、運用する意思を持っていること

<日程(予定)>

- ①10月2日(木) ②10月10日(金)、11日(土)、③10月24日(金)
- ④11月7日(金) ⑤11月21日(金) ⑥12月12日(金)
- ⑦平成27年1月29日(木)、30日(金)

10/2の1回目は、経営層にもご参加いただきます。

◆会場:長崎県勤労福祉会館、及び出島交流会館(調整中)

◆時間:午後(14:00～18:00 4時間程度)

ただし、10/2(木)は13:30～16:00頃まで

10/10(金)は14:00～21:00頃まで、10/11(土)は9:00～14:00頃まで(福岡では合宿)

※会場、講師の都合で日程・時間変更等がある場合がございます。

<費用>

参加受講料(日程①～⑦):1企業当たり **28万円(税別)**(企業様からの参加人数にかかわらず)

◆旅費交通費、懇親会費:参加企業負担

<ワークショップ内容(予定)>

共通キャリア・スキルフレームワーク(CCSF)活用ガイド 第1章、第2章までを実施します。

「導入」(要求分析、機能分析、スキルセット構築、人材像策定)を CCSF のテンプレートを活用して、自社人材育成の仕組みを構築します。

活用ツール、スキルアセスメントを使用し、社員のスキルチェック等を行います。

福岡で開催されました CCSF ワークショップで参加しました事例も参考にして、進めていきます。

◆講師は、複数名体制で対応します。

メイン講師は、IPA 遠藤様を予定しております。

(福岡での同時期開催の CCSF ワークショップと同じ講師)

<募集>

別紙エントリー票およびアンケートを NISA 事務局にメールにて送付ください。

期間:8月22日(金)12時まで

企業数:3～4社 バランスよく選定します。従業員数も考慮します。

お問合せ先 一般社団法人長崎県情報産業協会 故島、岩永
TEL: 095-824-0332
e-mail: nisa-ken@pro.odn.ne.jp

以上

一般社団法人長崎県情報産業協会
故島、岩永宛
e-mail : nisa-ken@pro.odn.ne.jp

日付 26年 月 日

第1回 CCSF ワークショップ参加企業の募集について

エントリー票

いずれかに○印をご記入ください

	エントリーする	エントリーしない
ワークショップへの参加		

<連絡窓口>

貴社名

お名前

役職名

TEL

メールアドレス

お問合せ先 一般社団法人長崎県情報サービス産業協会 故島、岩永
TEL: 095-824-0332、 e-mail: nisa-ken@pro.odn.ne.jp

< 8月22日(金)12時まで必着でお願いします >

第1回 CCSF 実験導入ワークショップ 事前アンケート

貴社名

お名前

1. スキル標準およびスキル標準活用について、お聞かせ下さい

- (1) 御社のスキル標準についてのステータスは、以下のどれに該当しますか？
ア) 導入検討中 イ) 導入作業実施中 ウ) 活用済み（部分） エ) 活用済み（全社）
オ) 活用断念 カ) 断念したが再検討中 キ) その他（ ）
- (2) 貴社のご関心事についてお聞かせください
(情報システム部門の組織・役割、IT人材の育成などについて具体的に)

- (3) スキル標準活用の目的は何ですか？（複数回答可）
ア) 人材育成 イ) 人材調達 ウ) 人材調達 エ) 人事制度 オ) ジョブローテーション
カ) 個人のスキルアップ支援 キ) 組織の見直し ク) その他（ ）
- (4) スキル標準導入の範囲は？（部署や人数などについて具体的に）

- (5) スキル標準で期待される効果をどう考えていますか？

- (6) スキル標準導入検討や導入作業はいつからどのような体制で始めましたか？

- (7) スキル標準の活用時期はいつごろですか？期間をどう考えていますか？その理由は？
(期単位での計画、予算、リソース、その他)

- (8) スキル標準導入費用は？

- (9) スキル標準の導入検討をすすめる上での問題点は何ですか？
ア) 責任者に理解させる、または説得できない イ) 現場の理解が得られない
ウ) その他（ ）

2. ワークショップに期待すること、今回のワークショップのゴールについて、参加してどういう状態になりたいか、何を明らかにしたいか、解決したいかなど、ご自由にご記入ください。

以上です。エントリー票と一緒に NISA 事務局に送付ください。
ありがとうございました。